

# もくじ

<b>1 基本方針</b>	1
1. 目的	
2. 計画の対象地域	
3. 活動目標	
<b>2 玉川地域の特性と予想される災害</b>	2
1. 地域の特性	
2. 防災面からみた玉川地域	
3. 海溝型地震（南海トラフ巨大地震）	
4. 直下型地震（上町断層での地震）	
5. 液状化可能性想定図	
6. 津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害	
7. 福島区の被害想定	
8. 玉川小学校区の被害想定	
<b>3 自主防災組織（地域災害対策本部、避難所運営委員会、町会）</b>	7
1. 組織	
2. 地域災害対策本部の組織図・役割	
3. 避難所運営委員会の組織図・役割	
4. 町会の自主防災組織図・役割	
<b>4 自主防災組織および個人の日頃の取り組みと発災時の行動</b>	10
1. 日頃の取り組み	
2. 災害時の取り組み	
<b>5 避難行動要支援者支援計画</b>	13
1. 要援護者名簿を活用した支援の実施	
2. 「避難行動要支援者」情報の管理	
3. 「支援者」の募集	
4. 「避難支援プラン（個別計画）」の作成	
5. 避難行動要支援者の自助	
<b>6 災害時ボランティア</b>	15
<b>7 備蓄物資</b>	15
<b>8 自主防災組織の訓練</b>	17
<b>9 その他</b>	17
防災マップ	18
<b>〈資料編〉</b>	20

# 基本方針

## 1. 目的

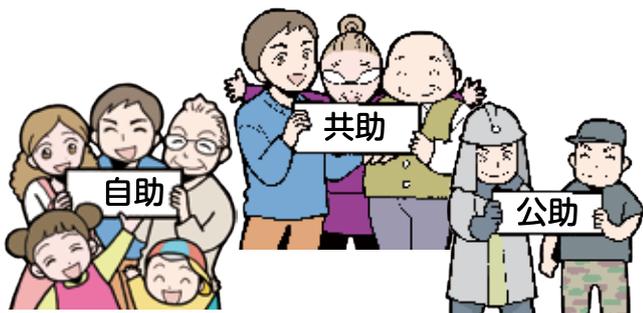
この計画は玉川地域住民の防災活動に必要な事項を定め『自助』『共助』が一体となって、地震など災害による地域の人的・物的被害の発生及び、その拡大を防止することを目的とします。

## 2. 計画の対象地域

この計画の対象地域は、玉川1丁目、2丁目、3丁目、4丁目 とします。

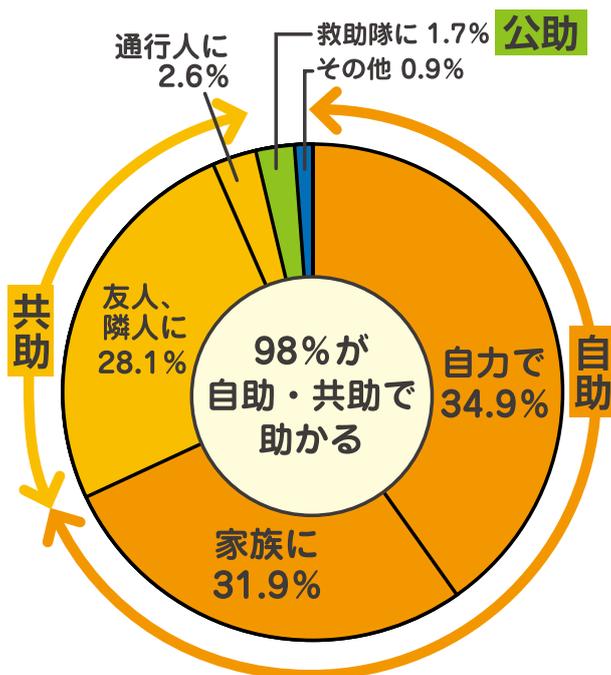
## 3. 活動目標

地域住民、自主防災組織の各メンバーによる『自助』・『共助』を基本とした防災訓練を年1回以上行い防災力向上に努めます。



災害被害を軽減するには、これらの連携が重要です。

自助：自分（家族）の命を自分（家族）で守ること  
共助：地域の皆さんで互いに助け合うこと  
公助：国や市の行政機関が対策を行うこと



(社)日本火災学会：「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より

阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の98%が自助と共助で助けられました。一方、公的機関によって生存したまま救出された人はわずか1.7%という記録が残っています。